

# 議会だより



ボール3塁! 3塁! (背中もしっかり指示しています)

## 6月定例会

- 東日本大震災に職員派遣 ▶ 2
- 本庁舎等計画に関する特別委員会設置 ▶ 4
- こんなとないこれどうなってるの 9人が一般質問 ▶ 6
- 議会報告会を開催 ▶ 16

## 知って欲しい たかの特産品 丹波黒大豆

**作付面積  
県下第2位**



丹波黒の可能性を熱く語る小田垣常務

転作作物として町内で取り組まれている黒大豆(丹波黒)の生産。

多可町は、作付面積が篠山について第2位であることを皆さんは知っておられますか。

「兵庫県産丹波黒」の中でも、篠山市で生産される丹波黒は「篠山産丹波黒」として独立したブランドになっていることから、「兵庫県産丹波黒」の最大の産地は多可町と

いうことになります。このたびは、町内で出荷に生産された「丹波黒」を、全量買い上げていただいている小田垣商店に伺ってきました。

**多可町の丹波黒は最高の質**

株式会社小田垣商店は、篠山市にあり、1734年に創業された丹波黒大豆、丹波大納言小豆などを専門に扱っておられる会社です。

対応してくださったのは、多可町産の丹波黒を担当されている小田垣昇常務取締役。

小田垣常務は、多可町産の丹波黒は、品質がとても良いと絶賛。ぜひ反収を上げてもらってさらに出荷してほしいとのこと。

**多可町産丹波黒は100%需要あり**

丹波黒の年間流通量は、2004年の350



豆の選別20年以上のベテランのみなさん

0%をピークに減少傾向が続いていましたが、近年の健康志向や食育嗜好から需要が回復しつつあります。

平成22年度の多可町産の丹波黒の出荷量は55トでしたが、需要は100ト程度は見込めるとのこと。

需要の回復を背景に平成22年度の買い取り価格は上昇しました。

多可町は、丹波黒を生産するには適した環境にあります。

栽培面積拡大にみんなを取り組みましょう!!

## 編集後記

暑中お見舞い申し上げます。連日厳しい暑さが続いております。

皆さま暑さ対策は、しっかりされていますでしょうか。

今年は我が家も電力消費をできるだけ抑えようと、「緑のカーテン」に取り組んでみました。が暑いものは暑いですね。さて議会では、1年前に特別委員会を設置して議論を重ねてきた議会改革も大詰めを迎えています。

町がその時々を抱えている問題を、しっかりと議論して、議会としてしっかりと説明できる結論を出す。そんな町議会を目指しています。

引き続き皆さまのご指導ご鞭撻をよろしくお願ひします。

辻

# 東日本大震災に職員派遣 宮城県南三陸町を支援

6月7日から23日までの17日間の日程で6月定例会が開催されました。  
定例会には東日本大震災支援のための専決処分をはじめ、国保の税条例の改正案や人権擁護委員の推薦、学校の耐震補強工事など17案件が、議員から3案件が提案されました。いずれも原案のとおり決定しました。また、一般質問は今回初めての試みで休日開催として18日の土曜日に開催しました。

**大震災への派遣費用  
専決予算370万円  
+  
補正予算224万円**

3月11日に発生した東日本大震災への支援の一助として宮城県南三陸町への職員派遣を実施しています。

この予算370万円については緊急を要したため、町長が予算を決定した後から議会へ承認を求め専決処分での対応となっています。専決処分については議会は全員賛成で承認しました。

害追加支援として224万円が提案されました。



被害にあった南三陸町の防災対策庁舎

## 歳出 4月専決予算と6月補正予算

款	専決額	補正額	補正後の額
総務費		194万円	16億5794万円
民生費		661万円	27億8916万円
農林水産業費		1049万円	12億1090万円
商工費		209万円	2億4018万円
消防費	370万円	255万円	4億5508万円
教育費		28万円	10億5154万円
諸支出金		32万円	1343万円
<b>歳出合計</b>	<b>370万円</b>	<b>2428万円</b>	<b>124億3832万円</b>
<b>2特別会計</b>		<b>283万円</b>	<b>46億1110万円</b>

※予算科目は補正のあった科目のみです

## 本会議の討論から

### 杉原紙の販売所 でんでんと和紙博物館の通路連結

今回の補正予算には、杉原紙のでんでんと和紙博物館を連結する予算が140万円追加計上されました。

**問** 当初予算で160万円計上済みであり、2m程度の間の連結は十分に現予算で対応できると考える。補正よりも早急に

**答** 工事着手をすべきと思うが、どうですか。

**問** 県からの補助金もらえる見通しがあるもので、もう少し改造部分を

追加して和室の改造も計画している。

**問** 補助率はいくらなのか。予算増額するならば、導線としての意味から、ぜひ杉原紙研究所とも渡り廊下で連結して3施設一体のものとするべきである。

**答** 補助率は確定していないが3分の1から3分の3の見込みである。渡り廊下は今後、前向きに検討します。

### シカの捕獲用わな10基追加

シカ捕獲費用が354万円追加補正されました。毎日のようにシカ被害

の声を聞きます。これを決して十分とは言えませんが、少しは捕獲できると期待しています。



設置中のシカのわな 一門村

### 本庁舎等基本計画の報償費

本庁舎等基本計画策定委員報酬が18人分18万円追加されました。

**問** 委員の報酬を補正等で追加するなど、思いつきの基本計画である証左である。必要なら当然に当初予算に計上しておく

べきでなかったのか。  
**答** 当初予算の段階で失念していたわけではありませんが、計画策定の上で必要とわかりましたので補正での計上をしております。



和紙博物館（左）とでんでん（中）と杉原紙研究所（右）

### 反対討論 補助金行政そのものだ

高澤 榮子  
国や県からの補助金の額次第で、事業本来の趣旨や目的が変わり、町は何がしたいのかわからない。例えば、加美区の杉原紙研究所「寿岳文庫」と隣の「でんでん」を結ぶ経路。防犯で避難目的のはずがあれもこれにも予算は膨らむ一方です。

# 役場庁舎等どうするべきか 議会も独自に調査検討

## 本庁舎等計画に関する 特別委員会を設置

加美プラザ、八千代プラザが完成した中で、いよいよ残っている本丸役場庁舎等はどうするかわですが、これはこの町の今後の命運も握っている大型プロジェクトです。町では本庁舎等基本計画策定委員会の設置に向けて動き始めています。議会としましても、独自に議会の立場で、本庁舎等の計画を調査検討する



役場庁舎

ことを決めました。そして、この議員全員（13名）で構成する特別委員会を設置する提案については、全員賛成で設置が決まりました。委員長には竹本克之（総務文教常任委員長）、副委員長には大山由郎（生活環境建設常任委員長）がそれぞれ議長の指名で就任しました。

## 人権擁護委員の推薦

平成23年12月31日任期満了となります。人権擁護委員の推薦に全員一致で同意しました。

藤井良夫さん  
(中区鍛冶屋)

人権擁護委員の任期は3年で藤井さんは再任です。

## 工事請負契約

八千代中学校の北校舎の改造とプールを撤去

八千代中学校の北校舎の地震補強と大規模改造工事です。

これで町内10小中学校の校舎の地震補強工事は全て完了します。

契約金額  
1億4201万円

請負業者  
姫路市 三和・総合建設  
共同企業体

工期

平成23年6月23日～  
平成23年9月30日まで

## 反対討論

### 時期を考えるべき

藤本 英三  
兵庫県は平成13年から35人学級になっている。東日本大震災で東北3県で学校の被害額が1050億円に上る。仮に35人学級にすると、教職員の人件費が1年で900億円をまかせる。今はまず東北の学校を復興させるのが最優先です。

## 賛成討論

### OECD加盟国で最低位

山口 邦政  
義務教育の学級編成は昭和34年からの第1次計画で50人、55年の第5次計画で40人となり、今年から小学1年生については35人となりました。OECD加盟国の中では最低位の状況です。常に国



松井小6年生の40人学級

に対して要望していく必要があります。

## 請願を採択

### 環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)に参加しないことを求める

請願団体 北はりま農業を守る会  
代表者 吉田敏昭  
紹介議員 竹本克之  
安田昇司 山口邦政 秋田 清 辻 誠一

### 請願事項

日本がTPPに参加すれば、農業大国であるアメリカやオーストラリアからの農作物の輸入も完全自由化も避けられませんが、米の生産は9割減少、食料自給率は40%から13%へ、わが国の農林水産業や地域社会が壊滅的な打撃を受けます。

「今でも農業で食べていけないのに、もっと安い農作物が入って来たら到底やっていけない」、「工業製品を輸出するために農民を犠牲にするの

か」のうめき声が聞こえます。

このような情勢を反映して、兵庫県議会でも国に対してTPP参加を懸念する決議が上げられています。多可町もTPP参加反対の決議を上げて欲しい。

審議の結果、全員賛成で採択しました。

\*TPPとは貿易自由化を目指す経済的枠組みで、加盟国間で取り引きされる全品目について関税を100%撤廃しようとするものです。アメリカ、オーストラリア、ペトナム等9カ国が現在参加しています。

## 請願を採択 30人以下学級実現と 義務教育費 国庫負担制度拡充

請願団体 兵庫県教職員組合多可支部  
代表者 小林真也  
紹介議員 秋田 清 大山由郎

### 請願事項

文部科学省が実施した国民からの意見募集では、約6割が学級規模として26人～30人をあげています。保護者も30人以下学級を望んでいます。

少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、OECD諸国並のゆたかな30人以下学級とすること。教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに国負担割合を2分の1に還元すること。

審議の結果 反対1、賛成12で採択しました。



安田昇司議員

問 地方交付税はどうなるのか

答 23年度分は震災影響はない

安田 財政の中で一番金額も大きく重要な地方交付税ですが、22年度は当初見込み45億円を大きく上回り、53億6000万と8億6000万円もの伸びがあったので、基金(貯金)の取り崩しは全くなしで決算ができる見通しとの報告を聞きました。

町長 22年度は経済危機対策の目的で地方交付税が増額となり、黒字決算の見込みです。23年度以降は非常に厳しい財政運営が予想されます。大震災は今後、東日本だけでなく全国的な消費の減を引き起こす可能性が高い。この場合、消費を算定の基礎とするたばこ税、地方消費税、自動車取得税等の減が確実に見込まれます。

町長 22年度は経済危機対策の目的で地方交付税が増額となり、黒字決算の見込みです。23年度以降は非常に厳しい財政運営が予想されます。大震災は今後、東日本だけでなく全国的な消費の減を引き起こす可能性が高い。この場合、消費を算定の基礎とするたばこ税、地方消費税、自動車取得税等の減が確実に見込まれます。

こんなんでないこれどうなってるの

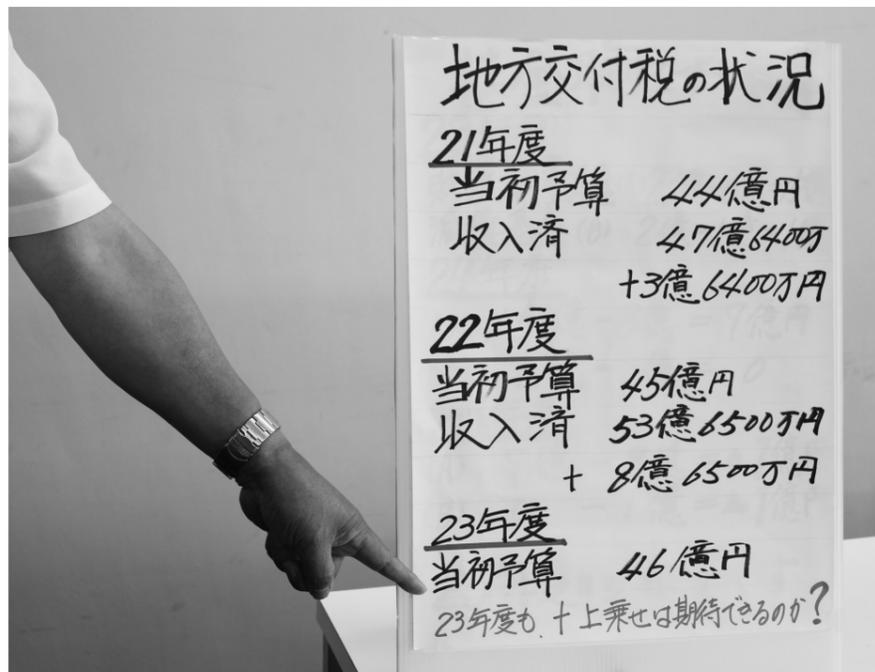
6月定例会での一般質問は6月18日と20日の2日間にわたって、9人の議員が行政全般について質問しました。

今回は、初めての試みとして土曜日に開催しました。これからも、休日等の開催も計画しますので、多くの皆さんの傍聴をお願いします。



※内容は次ページからですが、紙面の都合上カットしている質問もあります。

Table with 3 columns: 質問議員 (Questioning Member), 質問要旨 (Question Summary), 掲載ページ (Page Number). It lists 10 questions from various council members regarding local delivery tax, disaster response, and public facilities.



本当に影響はないのか

多可町議会だより No.23

多可町議会だより No.23



山口 邦政 議員

問 事業仕分けの進み具合は  
答 来年8月頃には実施

山口 町長は昨年6月議会において、平成23年度に事業評価制度を確立して、24年度から事業仕分けを実施すると答弁されています。その手法・考え方・進み具合をお答えください。

町長

事務事業評価制度は

- ① 職員の意識改革
- ② 資源の配分の最適化
- ③ 町民への説明責任

という3つの目的でおこなっています。その制度は、業績評価を指標で数値化して測定しているようにしています。業績評価は事業の方向性と現状を意識しながら評価していきます。進み具合は、22年に206のソフト事業の評価を実施し、23年度までの短期改善を177件、26年度までの中期改善を40件指示しています。今後は、各課から選出のチームリーダーを中心にすべての評価シートの作成をおこない、9月

から11月にかけて評価をして、24年度予算に反映させていきます。事業仕分けについては、行政評価制度検討委員会にて本年8月頃より本格的な検討を予定しています。検討課題は

- ① 対象事業の選定基準
- ② 仕分け人を誰にするか
- ③ 予算への反映をどうおこなうか
- ④ 事業仕分け結果の公表をどうするかです。



外部の目を取り入れた仕分け ー門真市ー

山口 事業の総コストを把握するため、評価シートを人件費も含めたものにする必要があると考えるが。

経営企画課長

従来、事業員が何人いたかという部分だけが欠けていたので、人件費部分も入れていきます。

山口 事務事業評価及び予算の編成過程を住民に公表していく考えはありませんか。

経営企画課長

事務事業評価は内部評価ですので公表は予定していませんが、事業仕分けは公開の場をおこないます。

山口 事業仕分けは24年度の何月頃の実施ですか。

経営企画課長

23年度の出納閉鎖後の24年の7月から8月が妥当と考えています。

山口 事業仕分けは外部の方を入れるべきだと考えますが。

町長

外部の目を入れるのは大事だと考えます。専門的な経験を積まれた方を入れるということは、重視させていただきます。



大山 由郎 議員

問 「心の場」の充実を  
答 安心のまちづくりを推進

大山 長寿社会を迎え、各市町村では町ぐるみ健診の受診率・医療費の上昇などの対策に苦慮しています。多可町では予防医学、健康管理の普及、日常の保健思想の徹底にどれほど努力をされてきたのでしょうか。

これまで、健康づくりに「栄養・運動・休養」の三要素が強調されてきましたが、今ではこれに「心」を加える必要があります。健康な生活習慣で健康寿命を延ばすのは心の問題で、住民の理解と協力が支えになります。最近、生活不安をかかえている高齢者の自死が急増し、心の不安を訴えています。不安を公的福祉で解決するには限界があり、自己の心で埋めることも必要です。

高齢者も、単なるサービスの受け手ではなく、自助努力で老人クラブ活動などに参加をし、「老人力」を活用した社会参

加型の活動を積極的に進めて意見などを町政に反映させ、地域福祉推進の決め手とする。そして行政もこれまでの施策に満足することなく、さらに「心の場」に踏み込み、高齢者の「心の場」の充実をはかるべきです。

町長

「笑顔でつむむ、あったかいまち」を掲げ、「高齢者のパワーを活かす町づくり」、「高齢者の活躍の場づくり」を進めています。

「老人力」を活かして、ボランティアなど社会参加・参画の「場づくり」を積極的に進め、子どもから高齢者まで誰もが健康で明るく生きがいを持ち、自立した生活が送れるまちをめざして、さまざまな施策を展開していきます。また、「健康管理の普及」については、住民との協働でさらに踏み込んだ地域福祉を推進していきます。

生きがいや健康づくりは、高齢者ニーズを的確にとらえ、皆さんが、「より安心して暮らせるまちづくり」を総合的に推進します。



町ぐるみ健診で健康管理を ー八千代区ー



門脇幸澄議員

問 災害・地震・原発への対策を急げ  
答 危機感を持ち災害に備える

**門脇** 今後30年以内に東海地震の起こる確率は87%、南海地震が60%と予想、山崎断層帯地震(M7.7、震度7)や有馬・淡路島断層帯地震(M7.7)など5つの地震が兵庫県に想定されています。  
また多可町では、昭和38年の豪雨災害で、堤防やため池が決壊して1000戸以上の浸水家屋が出ました。  
その上、今は福井県の若狭湾沿岸に14基もの原発があり、事故だけでなく、いつ地震や津波で大災害が起こるかもしれません。  
①新給食センターの建設予定地は浸水想定地域であるが安全か。  
②想定されるM7.7の山崎断層帯地震に対して本庁舎は安全か。  
③大雨や河川の増水の監視や避難の指示誘導などをする危機管理対策室をつくっては。

④福井県に原発災害が起きた時の対策として、放射線の線量計や農作物への監視体制はあるか。国と関電に原発の停止を要請すべきだ。  
**防災監** ①新給食センターの建設予定地は26センチの浸水想定ですが、災害時の炊き出しの拠点にもなるため、建設工事に際し工夫します。  
**町長** ②今の庁舎では持たない。耐震工事が建て替えるを急ぎたい。  
**防災監** ③防災監と生活安全課で危機管理体制の充実をはかっています。  
**消防委員** ④線量計は消防署に5台ありますが、現在役場には備えておりません。

**鹿害対策へ鳥獣保護区解除を**  
**門脇** 町内には妙見山や糺屋ダム、竹谷山など4つの鳥獣保護区があり、鹿などの繁殖地化している。  
①有害鳥獣防除対策のため鳥獣保護区の解除の手続をなぜ取らないのか。  
②取れない場合は狩猟特区を設けてはどうか。



昭和38年 流失した安楽田橋

**完全確保しつつ鹿を捕獲する**  
**鹿委員** ①公園であり、保護区の解除は難しく、柵やわなで捕獲していきたい。  
②保護区でも有害鳥獣狩猟の許可はできるが、安全第一で協議調整していきたい。



藤本英三議員

問 本町に放射汚染が起これば  
答 県・近隣市町と連携をはかる

**藤本** 東日本大震災で福島第一原子力発電所の事故が起きました。福井県嶺南には原子力発電所が14基あります。若狭湾周辺で同じくらいの規模の地震が起これば、本町も放射線汚染に見舞われ、大きな被害が発生するものと思います。  
事故が起き本町に大きな影響が出る前に、国や電力会社が「何とかしてくれ」ではなく、町として最低の準備は(住民避難のシミュレーションや放射線測定器並びに防護服等)必要であると思うが、町としてどんな準備をしておられますか。  
「ふるさと多可町」と町民の尊い生命と財産を守るため、改めて町長はどのような決意ですか。

**町長** 本町の地域防災計画では、まずモニタリングをおこない、放射線計測機の確保・被曝治療機関と連携をはかり、陸上自衛隊との協力体制を構築すると記載しているが、具体的に措置はできておりません。本町のみ対応でなく、県・近隣市町との連携をはかり、今後、早急に検討に入りたい。  
住民の皆さんの安心・安全をいかに保てるかというのが、私や職員の仕事と思ひ、万全を期します。

**消防委員** 大気中の放射線量測定器は多可消防署に5台、青野原自衛隊にあります。が、土壌や野菜の測定器は確認しておりません。

**住民満足度調査の評価は**  
**藤本** 本年度の住民満足度調査の結果が昨年より0.05低かったのはどう評価されますか。  
「職員の対応」、「職員の資質向上」の項目が低いのが、どこに原因があるのでしょうか。  
今年もギャップ度の1位は「新たな産業と雇用の創出」でしたが、この項目をアップするためにどのような努力をされましたか。  
**町長** 総合的に下がったことや、職員の資質向上や対応についても厳粛かつ真摯に受け止め、職員研修・人事評価制度を本格化した。経済環境の悪い中でも、商工会を通じてオーナー会議を開催し、8件の規模拡大申請をいただき、数十人の雇用がはかれる予定です。



竹本 克之 議員

問 町の防災対策は万全か  
答 集落防災委員会等で周知する

**竹本** 未曾有の東日本大震災は、災害が命と財産をいかにこともなく奪うかを思い知らせました。多可町における防災マップや、避難所の整備と住民周知に手抜かりはありませんか。

**町長** マップは平成19年に各戸に配付、その後、集落毎のハザードマップを、区長会や集落自主防災会議等で配りました。



郷土を守る消防団

**防災監** 防災士は、自然災害に対する知識と認識・技術を身につけて、地域や団体に広めて、普段から減災に努めることです。今後は、集落に二人以上の防災士養成を目標にお願いしたいと考えています。

家庭の太陽光発電に補助金を

**竹本** このたびの原子力発電災害で、思い知らされたのが電力の重要性です。

**無尽蔵の風と太陽光を代替エネルギーに発電する、太陽光発電の設置を推奨し、その補助金制度**



代替エネルギーとなるか太陽光 ー農林業公園ー

住宅リフォーム助成制度を適用

**倉民課長** 今年度に新設の『住宅リフォーム助成制度』を活用してください。上限5万円を国・県に併せて助成します。

総務課長

公共施設への設置は、費用対効果が非常に低い。今後の技術開発及び国の政策に期待するところだ。

町長

孫正義氏提唱の『メガワットソーラー』設置を中区安田地区に名乗りを挙げました。

問 災害の驚異から備えを  
答 見直し案を地元と協議する



大西 一好 議員

**大西** 災害時に避難所となる位置の安全性及び耐震化はできていますか。

**防災監** 避難所の位置については、浸水や土砂災害警戒区域にあります。今後、地元と協議しながら確定します。耐震化は中北小、杉小、八北小の各体育館、中央公民館、糶屋コミセンを除いて完了しています。

**大西** 災害想定地域への対応策は。

**町長** 余暇村公園周辺には、妙見山・東山古墳・ふれあい館・ゴルフ場・牧野大池等、観光資源の集積があり、16〜17万人の年間集客とし、公園の位置づけは重要な施設です。そういう中で廃止するという判断は、現時点で余り適切でない思いもあります。一方では、合併後、町内の観光資源の情報共有化、ネットワーキ化もはかられており、町全体として観光振興に取り組んでいく必要もあると考えています。

**大西** 学校での安全管理体制と教職員の安全対応能力の向上は。

**教育の「めざすべき人間像」** 大西 このたび教育ビジョンが示され、今後10年先の子どもに責任の持てる教育の推進宣言であり、「めざす人間像」の指針となります。現状の課題・人間像・推進方針を伺う。

教育長

防災計画・防災マニュアルを全職員に周知し、安全対応能力向上に努めています。

**教育長** これからの社会に生きていく子どもは、世界的な



ゆれる余暇村公園

**教育の「めざすべき人間像」** 大西 このたび教育ビジョンが示され、今後10年先の子どもに責任の持てる教育の推進宣言であり、「めざす人間像」の指針となります。現状の課題・人間像・推進方針を伺う。

たくましく生きる心豊かな子どもの育成

**教育長** これからの社会に生きていく子どもは、世界的な

視野で物事を見て判断していく力が求められる。自国の文化・伝統・考え方を十分尊重し、国際社会発展に寄与する態度を養い、生まれ育った地域・ふるさとを愛し、誇りに思う子どもの育成と、変化の激しい時代に自分の夢・目標に向かいたくましく生きるためには、学力・体力とともに人を思いやるやさしい心をしつかりと培っていきたいと考えます。



竹本 克之 議員

問 町の防災対策は万全か  
答 集落防災委員会等で周知する

**竹本** 未曾有の東日本大震災は、災害が命と財産をいかにこともなく奪うかを思い知らせました。多可町における防災マップや、避難所の整備と住民周知に手抜かりはありませんか。

**町長** マップは平成19年に各戸に配付、その後、集落毎のハザードマップを、区長会や集落自主防災会議等で配りました。



郷土を守る消防団

**防災監** 防災士は、自然災害に対する知識と認識・技術を身につけて、地域や団体に広めて、普段から減災に努めることです。今後は、集落に二人以上の防災士養成を目標にお願いしたいと考えています。

家庭の太陽光発電に補助金を

**竹本** このたびの原子力発電災害で、思い知らされたのが電力の重要性です。

**無尽蔵の風と太陽光を代替エネルギーに発電する、太陽光発電の設置を推奨し、その補助金制度**



代替エネルギーとなるか太陽光 ー農林業公園ー

住宅リフォーム助成制度を適用

**倉民課長** 今年度に新設の『住宅リフォーム助成制度』を活用してください。上限5万円を国・県に併せて助成します。

総務課長

公共施設への設置は、費用対効果が非常に低い。今後の技術開発及び国の政策に期待するところだ。

町長

孫正義氏提唱の『メガワットソーラー』設置を中区安田地区に名乗りを挙げました。



高澤 榮子 議員

問 庁舎建設 基本構想が先  
答 根拠資料づくりからはじめる

**高澤** 2年前、政策リーダーで庁舎の大規模改造工事が示されてから今まで、住民に向けては何の説明もないまま、3月議会で「新庁舎等の建設（改築）」が急浮上。一千万円の予算で基本計画を策定するとしています。

ふつうは、こういった大きな事業を進める際には、住民へのアンケートや説明会を開くなどして進められるものです。

▼建設の是非や庁舎に持たせる機能、位置など、住民からの意見の聞き取りや、アンケートなどをおこなう予定は。  
▼そのうえで、建設に対する方向性等を定めた基本構想を策定すること。基本計画はそのあとです。

**町長** まずは新築が改築かの根拠資料を作りたい。アンケートは次年度の住民満足度調査で予定していま

す。基本計画は、あるべき庁舎像を決定するものです。  
**高澤** 庁舎の建設はまちづくりの根幹。建築がなぜ必要なのか。今後の行政サービスあり方や、行政組織・機構のあり方等、方向性は町長なり町が示すべきで、それが基本構想です。これでは何もかも業者に丸投げ同然です。

**町長** 白紙の状態からスタートさせ、住民のみなさんに決めていただくのがいいと思っております。

公共施設 効率的な維持管理を

**高澤** 公共施設の維持管理には多額の経費が必要で。今のように、担

当課別の場当たりの対応でなく施設を全庁的・一元的に管理し、全体的な方針や方向性を定めることが重要ですが、施設の修理、設備の更新等、将来的なコストや財政面への影響は把握されているのか。

今は模索中 当面は簡易な一元化で

**町長** 十分な把握はできていないのが現状で、新町建設計画をもとに模索している段階です。

経営企画課

当面は簡易な一元化といった形で、施設を総合的に企画、管理、活用できるような体制づくりをはかっていきたい。



役場本庁舎



問 町をあげて水力発電を  
答 実施に向けて調査する



辻 誠 一 議員

**辻** 原発事故を契機に、国内外を問わず原発ゼロを求める世論と運動が大きくなるとなると広がっています。関西電力が抱える原発で、先の福島第一原発と同様の事故が起これば、甚大な被害を受けることが容易に想像できる多可町でも、「脱原発」の旗を積極的に振るのは当然です。あわせて再生可能な自然エネルギーで、ここ多可町からはこの程度の電力を供給できるというメッセージを発信してはどうですか。

私は、中小水力発電について提案したいと思います。この中小水力発電の利点は、ダムや大規模な水源を必要とせず、小さな水源で比較的簡単な工事で発電できることにあります。このため、山間地、中小河川、農業用水路、上下水道施設、ビル施設、家庭などにおける発電も可能です。これ

ら、中小規模の水力発電の未開発の出力は1212万kWあり、他の自然エネルギー等と組み合わせれば、原発で発電している量を十分カバーすることができま。

**町長** 脱原発という流れになっています。また、再生可能なエネルギーをいかに活用するかということが今からの国の大きな課題であると認識しています。

議員提案の中小水力発電ですが、宍粟市では小型の水力発電装置の導入に対してその経費の1割補助をしているようです。

多可町でも再生可能エネルギーシステムの導入者への支援は、検討しなければならぬ課題と考えています。また町として取り組む中小水力発電については、費用対効果も十分に検討しなければなりません。すでに導入している先進自治体等への視察などもしながら、前向きに検討したいと思えます。



勢いよくまわる水車 一大屋一

# 7会場で 議会報告会を開催

多可町議会では、議会改革の一環として平成23年5月6日～15日にかけて、小学校区毎の町内7会場で議会報告会を開催しました。

14名の議員が2班に分かれておこない、3月議会で審議した平成23年度予算の審議経過や可決された内容の説明をおこないました。その他、総務文教・生活環境建設の両常任委員会で審議した事項についての説明もおこないました。

従来から議員自身の中でも、議会は住民の皆さまに対する説明責任や住民の皆さまの考えを吸い上げていないのではとの声がありました。そして、住民の皆さまとの意見交換の場が必要との声もありました。また、昨年行った「議会に関するアンケート」結果で、『市民の声が議会に届いていないと思わない』（45%）や、どのような改革が必

要だと思えますかの質問で、『市民の声が反映されるための懇談会や意識調査を実施すべき』（27%）のお声をいただき、今回の実施となりました。

①議会としての報告会なので（個人としての報告会ではない）個人的な意見はつしむ。  
②結果の報告だけではなく、審議の経過も報告する。  
③報告内容は各会場統一のものを用意する。  
初めての報告会で議員



初めての議会報告会

平成23年 第1回議会報告会 来場者数

開催日	場所	校区	来場者
5月6日(金)	中町北小学校体育館	中町北小学校区	16人
5月7日(土)	多可町中央公民館	中町南小学校区	10人
5月11日(水)	かみ総合福祉センター	杉原谷小学校区	21人
5月12日(木)	交流会館	松井小学校区	20人
5月13日(金)	八千代北小学校体育館	八千代北小学校区	12人
5月14日(土)	八千代西小学校体育館	八千代西小学校区	4人
5月15日(日)	八千代コミュニティプラザ	八千代南小学校区	18人
来場者合計			101人

も不慣れな上、議会報告会という性格上、参加していただいた皆さまには想像されていたイメージと違った面もあったかも知れませんが、議会も研究・研さんを重ねて今後の報告会に臨みたいと思っております。

## 議会報告会質疑内容

議会報告会では、住民の皆さまよりたくさん質問や意見を頂戴しました。次のページの町への質問書の内容以外に出てきた意見の一部を掲載します。

**議員はもっと勉強せよ**

議会にはチェック機能をしっかり果たしてほしい。町の抱える問題はたくさんある。財政等についてもしっかり勉強してほしい。

指摘されたことは、もっともなことが多い。皆さんの自託に任せられるような議員になるべく励みたい。  
**議員を減らせばいいわけではない**

合併して生活圏が広がった今、住民の意見を吸い上げていくには議員を減らせばいいというものではない。みんなが同じ方向に向かっていては弱体化する。  
議会が住民にどこまで近づけるのか。休みな

く改革は続けていきたい。議員間の連携はできているのか。一般質問で過去にあったのと同じような質問があると思うが。

過去の質問と重複するものもあるが、あえて検証する意味で質問する場合もある。議員の連携は、議会改革の一環で議員間討議を始めたので、その場で議論を深めていく。

**シカ対策は生ぬるい**  
シカ被害については、とにかく捕獲することが大事で、今の対策は生ぬるい。  
シカ対策については、県にも色々要望している。町も今年度はシカ柵設置

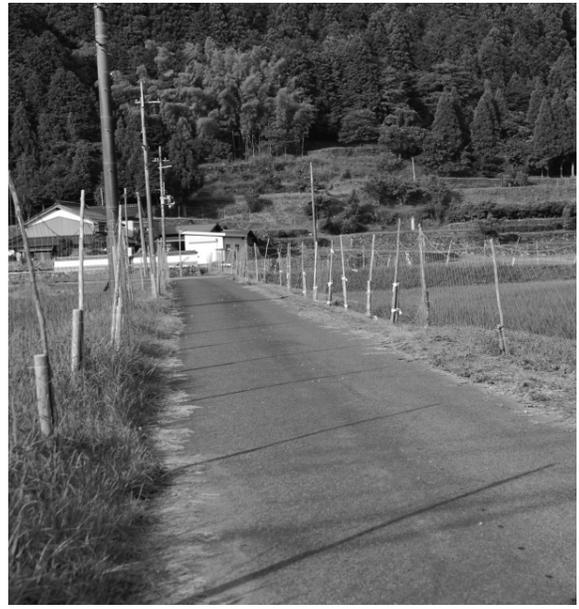
等に7000万円を予定している。シカ対策はこれからも十分な対策が必要だ。  
**シカ肉加工施設について**  
シカ肉加工施設について、詳しく話を聞きたい。

議会も加工施設建設に向けて視察をおこなった。多可町では、空き施設を利用して450万円かけて整備しようとしている。各団体もシカ肉料理開発に力をかけてほしい。

多可町は捕獲の特区をとっており、猟友会駆除出役等をお願いしている。個人での捕獲については制約があるので、誰もが簡単にできる捕獲や防除柵のさらなる援助を県に要望を続けていきます。

**シカ対策は絶対数減を**  
シカの被害対策は、処理施設も大切だが捕獲も大事だ。まずは絶対数を減らすのが先決だと思

多可町は捕獲の特区をとっており、猟友会駆除出役等をお願いしている。個人での捕獲については制約があるので、誰もが簡単にできる捕獲や防除柵のさらなる援助を県に要望を続けていきます。



自主防衛のシカ柵 ー鳥羽ー

**学校のバリアフリーは必要か**  
小学校にバリアフリーは本当に必要なのか。

毎日の児童の生活、災害時の避難場所の両面から、障がいを持った人や、ケガをした人、お年寄りが使用しやすいように必要です。

**なごみの里運営について**  
「なごみの里山都」の運営について地元として悩んでいる。  
経営的に苦しいのは我々も認識している。今後指定管理のあり方については、さらなる議論が必要と思う。

**給食センター建設は**  
学校給食センターの統合は決定か。建設時期は。

実施設計費が計上されており、前向きに取り組むということです。建設費は今年度中に補正予算で計上されるのかと思っているが、詳しくは聞いていない。

## 報告会の意見をまとめ 町に要望書・質問を提出!

議会報告会でいただいた多くの意見や要望の中から、一部について町長に対して要望書を提出しました。要望と町長からの回答は以下のとおりです。

(詳細は議会HPに掲載)

- ①**固定資産税について**  
**(要望)** 昨年度、固定資産税が上げられた。その影響で国民健康保険税も上がった。税率を過去の分も含めて公表してほしい。  
**(回答)** 固定資産税率は、昭和30年度に課税標準額の1・4%に設定して以降、そのままです。税率は同じですが、固定資産の客体が増えれば、前年度より固定資産税が上がることとなります。  
**② バスタイヤについて**  
**(要望)** 神姫バスの西脇・三宮線利用の通学生は、バスが遅れることにより、鳥羽行きのバスとの連絡がとれない。バスタイヤを検討してほしい。  
**(回答)** 当該事案は、鳥羽行き最終便の19時31分と思われま。西脇停留所5分間の乗り継ぎ時間が設定されていますが、渋滞等で恒常的に10〜20分の遅れが出ています。10月1日からのダイヤ改正で19時51分近辺への改正で調整中です。  
**③ 地籍調査について**  
**(要望)** 地籍調査を八千代区では山林部から実施している。平地部と山林部の接点が多くなるので、本来平地部から実施すべきだと思う。  
**(回答)** 町としては平地部から実施したいと考えていますが、地域の事情等により山林部から実施する場合があります。八

千代区については、平成20年度に区長会において協議いただき、南部の山林部から調査することになりました。

- ④**むらづくり活動、絆づくり活動助成について**  
**(要望)** 使途制約が多すぎ、申請手続きも苦労がある。簡素化できないか。  
**(回答)** 助成金は公費なので、最低限の事務処理は必要であり、極端な簡素化は難しい。できるだけ簡素化する方向で検討します。  
**⑤ 鳥獣保護区、禁猟区の改善について**  
**(要望)** なか・やちよの森公園は保護区、仕出原の東側は禁猟区になっているが、期間限定で保護区解除、禁猟区改善ができないか。  
**(回答)** 保護区内でも特別許可で狩猟の許可が出ますが、安全性を考えると狩猟者もこの地域に入るのを躊躇されているのも現状です。今後とも、

県と危険予防を最前提に協議調整をはかっています。

- ⑥**負担金免除道路以外の道路における負担金について**  
**(要望)** 集落要望で道路工事を実施した際に、工事費の20%を寄付することになっているが、この寄付金20%はどういう基準で決められたのか。  
**(回答)** 町道の修繕については、道路管理者である町が全て町費で実施しています。地元は20%負担を求める事業は、道路

の新設や拡幅、新たな舗装など「グレードアップ」を伴うものに限定しています。

- ⑦**上三原大幹線林道の危険箇所について**  
**(要望)** 上三原大幹線林道で排水が集中して、山がえぐれている。山林が崩壊して大規模災害の発生が心配されるが。  
**(回答)** 県において、平成23年度事業対応の予算が計上され、地元との再協議及び測量を随時進められる予定です。



地元集落が20%負担した町道 -熊野部-

## の 委員 会

### 総務文教常任委員会

## 指定管理施設の 経営改善を



道の駅「R427かみ」小嶋駅長

今年度で指定期限が切れる加美区の多可町農林業公社(ハーモニーパーク)とかがみ物産センター(道の駅R427かみ)を視察しました。まず、ハーモニーパークですが、22年度の「収支見込総括表」と「来園者実績表」による説明を受けました。

果実は天候や気温に左右され、味覚狩りも9月10月のみです。景気低迷で入園者も激減しており、年間、町より4000万円を管理料として支払っているのに、約260万円の赤字が見込まれます。道の駅R427かみはこの4月に小嶋利兵衛駅長が就任されたばかりでした。

レストランの厨房は、シエフなしで、4人の女性が他店を訪れ研究し、メニューを決めて調理しています。

レストランの利用者は年間約3200人、全体の来店者は約15万人、朝市の方もまずまずです。

### 生活環境建設常任委員会

## 上三原西谷(通称猪谷)の危険箇所を視察



山林の荒廃状況 -上三原-

今回の視察は、先の議会報告会での参加者からの要望もあり、それに応えて実施しました。

**猪谷の現況**  
 山腹の浸食、土砂の流出堆積、倒木がひどい現場でした。

**早期着工を**  
 地元からの要望を受けて、兵庫県に対して復旧工事の要望と調整をおこなってきました。

兵庫県は、平成23年度予算化され、今後、地元との調整、実施設計等をおこない、早期着工をめざすとのこと。

委員会では、各区の危険箇所を視察し、早期解決をはかります。